



ほけんだより No. 10

Kids Labo
きつずらぼ 病児保育室

1月中旬頃より、市中において新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスの感染者が急増していました。冬場は免疫機能が低下しやすいため、まだまだ油断できないですね。

2024年2月29日発行
1月利用状況 8件

発熱の応急手当て

熱の上がりはじめは



1. 正しく熱をはかり、
服を着せ、体を温める。

2. 下着を着替える。

3. こまめに水分補給する。

熱が上がってきたら



1. 体や顔がほてってきたら、
布団や服を1枚少なくする。

2. 保冷剤をタオル等でくるみ、
わきの下や足の付け根に当てる。

3. 熱が下がった後も、
こまめに水分補給する。

お子さんが発熱すると心配になってしまいますが、熱の高さと病気の重さは必ずしも関係ありません。元気の度合いはどうか、おしっこのおしこみ具合はどうか、熱以外の症状（せき、下痢など）が出ていないかにも注意しながら、熱の状態を観察しましょう。こまめな水分補給をこころがけましょう。